

公募論文

1. 本学会の会則に則り、経済学史、社会・経済思想史の研究成果を広く公募する。論文は未公開のものに限る。
2. 投稿資格は本学会の会員・非会員を問わない。審査料・掲載料については、いずれの場合も無料とする。
3. 『経済学史研究』編集委員会は、各論文につき複数のレフェリーに審査を依頼し、その結果を受けて、採否・保留の最終判定を行う。採用・保留の場合でも、執筆者に書き直しを求める場合がある。
4. 『経済学史研究』に掲載される文章はすべて、経済学史学会が著作権を保有する。
5. 論文の形態について、次のような指針を定める。
 - 5.1 本文の使用言語は、原則として日本語および英語とする（原典部分についてはこの限りでない）。
 - 5.2 論文の長さは原則として、タイトル・末尾注・図表・数式および参考文献を含め、和文の場合で 28,000 字以内（400 字詰で 70 枚分）、英文の場合で 8,000words 以内とする。
 - 5.3 和文・英文いずれの場合も、タイトル・執筆者名を含めて約 250words（300words を超えないこと）の英文要旨を付けること。なお、タイトル・要旨について、英語を母語とする者に事前にチェックを受けること。
 - 5.4 タイトルの下に、JEL 分類番号（http://www.aeaweb.org/journal/jel_class_system.html, 例：B22,B31,I31）を 3 つ以内で示すこと。
 - 5.5 その他、論文スタイルや執筆要項については、経済学史学会のサイト <http://society.cpm.ehime-u.ac.jp/shet/shetj.html> を参照のこと。
6. 論文投稿は随時、受け付ける。
7. 論文原稿はワープロソフト「ワード」または「一太郎」で作成すること。論文原稿には、投稿者（論文執筆者）氏名、論文タイトル、総字数、住所、電話番号、Eメールアドレスを記載した表紙を添付すること。また、論文原稿本体には、論文タイトルのみを記載し、投稿者氏名は記載しないこと。作成した論文ファイル（表紙を添付したもの）は下記のEメールアドレス宛に送付すると同時に、プリントアウトしたもの 1 部を下記送付先（郵便）住所に郵送すること。論文の採否にかかわらず、審査後もファイルおよびプリントアウトした原稿は返却しない。

Notes and Communications

1. 投稿の内容は、以下の 2 つとする。
 - a. 経済学史、社会・経済思想史の研究にかかわる問題提起（新研究・新資料の紹介と論評を含む）、和文 5,000 字、英文 1,500words.
 - b. 『経済学史研究』掲載の論文、特集・研究動向、書評などに対する反論や批評、和文 2,000 字、英文 600words.
2. 他の規定は、公募論文の規定に準じるが、編集委員会の判断で審査の手続きを簡略にすることがある。

論文・原稿の送付先：

E-メール：t-dome@econ.osaka-u.ac.jp

郵便：〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-7

大阪大学大学院経済学研究科 堂目研究室気付 『経済学史研究』編集委員会

投稿論文・原稿に関する連絡・問い合わせ先：Eメールおよび郵便は同上。

Tel : 06-6850-5211 Fax: 06-6850-5256

International Advisory Board

Mark Blaug, Samuel Hollander, Laurence Moss,
Warren Samuels, Bertram Schefold, John Vint

編集委員会 出雲雅志、奥田敬、川俣雅弘、近藤真司、
関源太郎、堂目卓生（編集委員長）、塘茂樹、御崎加代子